

## 連合長崎第42回地方委員会を意思統一

～2017春季生活闘争・組織拡大・政治活動～

# 「底上げ・底支え」「格差是正」で クラシハソコアゲを実現しよう! 長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を!



連合長崎は、2017年2月13日(月)14時から長崎県勤労福祉会館において第42回地方委員会を開催しました。冒頭、森光一会長から「2017春季生活闘争」及び「中間自治体選挙」の2点に対して挨拶がありました。(別記)森会長の挨拶の後、民進党県連の宮島大典代表代行、社民党県連の泉原正行幹事長から来賓あいさつがありました。

その後、第41回地方委員会以降に行われた選挙で見事当選を果たした波佐見町議の横山聖代さんと五島市議の草野久幸さんにご挨拶をいただき、今後予定されている選挙の予定候補者3名(諫早市議選予定候補：松永隆志さん、田中哲三郎さん、西海市議選予定候補：清水正明さん)から決意表明をいただきました。

新規加盟組織に対する交付金の贈呈のあと、一般活動経過報告・2017年度中間選挙総括が満場一致で承認され、第1号議案「2017春季生活闘争方針」から第4号議案までの各議案が承認されました。スローガン及び地方委員会アピールを確認しました。

最後に、森会長から「2017春季生活闘争と諫早市・西海市の選挙勝利、組織拡大の一層の推進」をめざして、ガンバロー三唱を行い、連合長崎第42回地方委員会を閉会しました。

## 森会長あいさつ



### ①2017春季生活闘争について

昨年の春闘、連合は4つのポイントを掲げ闘った。

①持続性(2年連続の一定の成果)②月例賃金(日々の暮らしに必要な月例賃金にこだわる)③広がり(大手の結果いかんで、非正規・未組織・地場中小や賃金制度の無い職場に影響を及ぼす)④底上げ(サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な成果配分を求める)

結果は、一定の成果は収めることができたが、連合が求める水準には至ってないという現実がある。この状態をさらに前進するためにはこの4つの基軸は極めて大切であり、今次春闘もこの4点が基本となることが求められる。

2017春闘の基本姿勢には広がりや底上げを進化させるために、連合は、日本国の経済成長を支えてきたのは諸先輩を含めた私たち労働者であり、日々の生活の中に「ゆとり・豊かさ」を実現させるため春闘を通じ今後も職場環境や労働条件の維持向上を目指す必要があると訴えている。

安倍総理が言うトリクルダウン型の春闘では「底上げ・底支え」に限界が見えてきている。連合はトリクルダウン型ではなくボトムアップ型の春闘が必要であるとしている。「大手追従・準拠」ではなく、独自の要求根拠と理論構築を徹底し、闘いを前進させることが必要である。そして「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な成果配分」を求め、前進することが求められる。そして働く者すべての「底上げ・底支え」「格差是正」に繋げ、世論を巻き込んだ社会的理解とうねりを形成しなければならない。地域社会の底上げと活性化には地場中小の取り組みと成果が極めて大切だ。その結果により、全く関心が無かった労働者や生活者の労働組合への関心が広がり組織拡大の一助となることは明らかだ。

春闘は組合員が最も期待する労働運動だ。構成組織役員の奮起を望みます。

### ②本年施行される中間自治体選挙への対応について

本年は5の首長選挙・9の市議会・町議会選挙が予定されている。先陣を切って五島市議選では「草野久幸」さんが6位で見事に勝利できた。今後も3月26日投開票の諫早市長選には宮本明雄現市長が諫早市議選には林田保候補、松永隆志候補、田中哲三郎候補が、更に4月23日投開票の西海市長選に

は田中隆一現市長が、西海市議選の清水正明候補が連合推薦候補者として、出馬する。推薦にあたっては各構成組織の理解を得た上で決定した。推薦した以上は各組織含めて責任を果たさなければならず、居住組合員の生活環境向上や福利厚生の実現に向け全力を傾注するようお願いする。また壱岐・対馬・平戸・雲仙市なども本年中に市議会選挙が施行される。民進党・社民党と連携しながら空白区の解消に努めて行き、働く者の声を議会に届けなければならない。今、アメリカも日本も独裁的政治が横行し国民主体の民主主義が破たん寸前であるように思えてならない。これまでの無関心層も今無関心であってはならない時期に直面している。東京都では議会の枠組みが変わろうとしている。地方からも声を上げ政治を変えていくことが問われている。

また、本年中にあるだろう解散総選挙への備えも極めて重要だ。3区と4区は民進党として対応を決定されたが、1区・2区と次期参議院選挙の対応も極めて早急に決定してもらわなければならない。

その他にも「高齢者雇用の問題」「組織強化・拡大」「最低賃金」「女性活躍推進法」「憲法改正議論により深刻化する平和運動への取り組み」など課題は山積している。構成組織の皆さんのご支援・ご協力をお願いする。共に頑張りましょう！

## 承認された議案

### 第1号議案

#### 「連合長崎2017春季生活闘争方針」

2017春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争です。賃金の社会的水準確保を重視した取り組みを継続するとともに、とりわけ中小企業労働者や非正規労働者の月例賃金・時給の改善のために、「大手追従・準拠からの構造の転換」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分」の運動を前進させる取り組みを進めます。

具体的には、全国で展開する「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」第2弾の取り組みと連動し、行動を展開していきます。①雇用の安定確保、②「賃金カーブ維持分」の確保とベースアップによる賃金改善、③非正規労働者の処遇改善をはじめとする様々な課題への対応、④中小・地場組合の賃金改善、⑤非正規労働者の労働条件改善、⑥男女平等の実現、などの最重要課題を改善するため、2017春季生活闘争へ積極的に取り組みます。

### 第2号議案

#### 「2017年度連合長崎組織拡大方針」

連合長崎は、組織強化・拡大を最重点課題と位置づけ、連合方針である「1000万連合」実現に向



けた取り組みを行っている。「年間1,500名」の組織拡大を実現するとともに、2020年の目標を「現在の組織人員プラス10,000名」に設定しています。これは容易に達成できる数字ではなく、組織拡大推進会議において具体的取り組みを確認・提起する中で、連合長崎における全ての活動を「組織拡大」に繋げることを強く意識し、常に「顔の見える」活動を展開し、全力で取り組みを進めていくこととします。

### 第3号議案

#### 「2017年度連合長崎政治活動について」

第49回衆議院議員選挙については、「民進党が候

補者を決定した時点で、連合長崎政治委員会を開催し、推薦の方向性等について議論・確認する」という方針を確認しました。中間自治体選挙については、今年施行される9つの選挙に対して、全ての組織が全県下的な支援体制を確立するとともに、2019年の統一自治体選挙の候補者を今年中に確立します。

### 第4号議案

#### 「連合長崎 役員交代」

女性委員会から選出いただいている執行委員の交代を確認しました。

## 連合長崎第42回地方委員会アピール

私たち連合長崎は、本日ここに、第42回地方委員会を開催し、2017春季生活闘争、組織拡大、政治活動などの諸課題への取り組み方針を力強く決定した。

我が国はすでに超少子高齢化・人口減少社会に突入し、労働力人口の減少がもたらす人手不足は、多くの企業や産業において喫緊の課題として顕在化している。また今後、IoTの普及やAIの活用といったイノベーションが、企業や産業における働き方の変革まで迫ることは必定である。一方、不確実性が増す国内外の情勢に対して、日本の経済・社会はどことなく与えられた状況に対して受け身となっている雰囲気があるのではないかと「与えられた感」に埋没しては社会の発展は望めず、一人ひとりの将来も決して明るいものとはならない。われわれ労働組合は、国民生活の維持・向上をはかるため、組合員の賃金・労働条件の改善だけでなく、社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」として、積極的に社会へ発信・行動し、2017春季生活闘争を展開する。

今次闘争においては「包摂的な社会の構築」と「ディーセント・ワークの実現」、そしてそれに不可欠な「経済の自律的成長」をめざす。日本のGDPの6割を占める個人消費を拡大するためには、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」をはかることが不可欠である。「月例賃金の引き上げ」と「底上げ春闘」を今次闘争においても継続し、さらに社会全体へ広げていくことが重要である。そのため、中小企業団体や行政機関、地域のあらゆる関係者などと連携する取り組みを展開し、「公正取引の促進」「サプライチェーン全体での付加価値の適正配分」の概念を普及させ、「開かれた春闘」として社会に広がりのある春季生活闘争を積極的に展開する。

2017春季生活闘争は、わが国の経済・社会の分水嶺といっても過言ではない。「底上げ春闘」の流れを継続し、さらに社会全体へ広がりを持たせていかなければ、わが国は再びデフレの深い闇に舞い戻ってしまいかねない。社会とのコミュニケーションを重ね、すべての働く者・国民生活の底上げに向けて、われわれ労働組合の一人ひとりが能動的に行動していく。

連合本部・地方連合会・構成組織による「1000万連合の実現」に向けた取り組みが強化されている。連合長崎は、組織強化・拡大を運動の最重要課題と位置づけ、2020年までに10,000人増(60,000人連合長崎)の拡大目標を達成すべく、構成組織や各地協、あらゆる関係団体と連携し、組織拡大を一層推進していく。

長時間労働への対応もまたなしの課題である。「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、すべての労働組合が一丸となり、粘り強い交渉を展開することで、「底上げ・底支え」「格差是正」で「クラシノソコアゲ」と「長時間労働の撲滅でハッピーライフの実現」など、すべての働く者の処遇改善を組織の総力を結集し追求していく。

以上決議する。

2017年2月13日 連合長崎第42回地方委員会



議長 植松委員(UAゼンセン) 左  
平野委員(情報労連) 右



来賓あいさつ  
民進党県連 宮島代表代行



来賓あいさつ  
社民党県連合 泉原幹事長

## 3.8国際女性デー長崎集会

# らくらくストレッチヨガ教室



3月4日は午後から「3.8国際女性デー長崎集会」を開きました。今年は少し趣向を変え、「らくらくストレッチヨガ教室」を開催し、講師にロータスブルームヨガ代表の岡西康子先生をお呼びしました。普段、運動不足の身体を思いっきり伸ばして、参加者もリラックスできているようでした。普段の忙しい生活の中でも、自分に向き合い少しでもリラックスできる時間を持てるよう、集会で学んだことを少しでも活かしていただければと思います。

また、今年は新たな取り組みとして「フードドライブ」を実施しました。お米や乾麺など大小いろいろありますが、100品程度の食料を持参していただきました。この食料は長崎フードバンクシステムズさんを通して、寄付をする予定です。寄付をして下さった皆様、どうもありがとうございました！



たくさんの寄付  
ありがとうございました



### 国際女性デーとは？

1857年3月8日、米国のニューヨーク市で被服工場や繊維工場に働いていた女性たちが抗議行動を起こしました。彼女たちは非人間的な労働条件と低賃金に対して抗議の声を上げたのです。警察は抗議者たちを襲撃しましたが、2年後の3月、彼女たちは初めて労働組合を結成して自らを守り、職場における基本的権利を獲得することに努めました。

1908年3月8日、15,000人の女性が労働時間の短縮、賃上げ、選挙権、児童労働の廃止を訴えて「パンとバラ」のスローガンを掲げ、ニューヨーク市内をデモ行進しました。パンは賃金や労働条件などの経済的安定、バラは女性の尊厳として生活の質の向上を示しています。

1910年コペンハーゲンで開催された「第2回国際会議婦人会議」で、ドイツのクララ・ゼトキンが、「米国の被服労働者のストライキを記念する日を国際的な性格をもつ女性デーとして、世界の女性たちが一致して毎年、男女平等と平和のための行動をおこすこと」を提起し、17カ国から参加していた100人を上回る女性たちの満場一致の承認を得て採択されました。そして、この「国際女性デー」は、選挙権を含む女性の権利のための運動の栄誉を称える日として確立されたのです。

連合では、1996年から春季生活闘争の統一行動として、全国の仲間と共にこの行動に取り組んでいます。



# 「2017春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」 長崎地区総決起集会



連合長崎 森会長



民進党長崎県連 渡辺幹事長



社民党長崎県連合 吉村代表

連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月4日(土)10時30分から長崎市江戸町公園にて「2017春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会を開催し、約1500人が結集しました。

集会の冒頭、連合長崎森光一会長は、「今次春闘も①持続性 ②月例賃金にこだわる ③広がり ④底上げの4点が基本となる。『クラシソコア応援団』として力を結集し、世論を巻き込んだ社会的理解とうねりを形成しよう。私たち連合に集う労働組合は大手・中小・官・民が互いにスクラムを組み団結が求められる闘いであり、その中でも先にヤマ場を迎える大手が中心となり、全国的に好影響を与える結果が求められる。構成組織・連合長崎は勿論のこと単組から職場に至るまで総がかりで、最後までねばり強く闘い抜こう!」と訴えました。

その後、民進党長崎県連の渡辺敏勝幹事長、社民党長崎県連合の吉村庄二代表から連帯の挨拶をいただき、たくさんお見えいただいた各級議員の皆様をご紹介しました。

集会宣言を採択したのち、連合長崎地域協議会酒井議長の声強いガンバロー三唱で集会を終了しました。

集会終了後は、参加者全員で「2017春闘を勝利するぞ!」「非正規労働者の均等待遇を実現するぞ!」とシユプレヒコールをしながら、公会堂前広場までアモ行進を行いました。

県内各地でも総決起集会が予定されています。連合長崎、地協、構成組織が一丸となり、2017春季生活闘争、予定されている中間自治体選挙の勝利に向け、総力を結集した取り組みを進めましょう!





# 連合長崎推薦候補者の全員当選を目指して、 全力で支援しましょう!

## 「諫早市長・市議選挙」(3月19日告示・3月26日投票)

### 【諫早市長選挙】



**宮本 明雄** 無所属  
(現職・組織外)

### 【諫早市議選挙】



**林田 保** 民進党  
(現職・基幹労連)



**松永 隆志** 無所属  
(元職・自治労)



**田中哲三郎** 無所属  
(新人・組織外)

## 「西海市長・市議選挙」(4月16日告示・4月23日投票)

### 【西海市長選挙】



**田中 隆一** 無所属  
(現職・組織外)

### 【西海市議選挙】



**清水 正明** 無所属  
(新人・自治労)



## 協会けんぽ長崎支部の保険料率変更のご案内

平成 29 年 3 月分 (4 月納付分) 以降

健康保険料率

10.12% → 10.22%

介護保険料率

1.58% → 1.65%

協会けんぽでは、都道府県ごとに保険料率を設定していますが、保険料率の差が広がらないよう、全国平均の保険料率と各都道府県の保険料率の差を圧縮する経過措置がとられています。

この措置は、平成 31 年度までに段階的に解消することとされているため、平成 29 年度は都道府県ごとの医療費の差が保険料率に、これまでより強く反映されています。

◆ 詳しくは、協会けんぽ ホームページをご確認ください。

※ 任意継続被保険者の方は、平成 29 年 4 月分 (4 月納付分) から保険料率が変わります。

※ 40 歳から 64 歳までの方は、健康保険料に介護保険料が加わります。介護保険料率は全国一律です。



全国健康保険協会 長崎支部  
協会けんぽ

お問い合わせは  
こちらまで

〒850-8537 長崎市大黒町 9-22 大久保大黒町ビル本館 8 階  
電話：095-829-6000 (代表)